

社会福祉学科 介護実習プログラムの内容と特色

介護基礎実習(1年次夏休み:90時間)

[実習の目的・ねらい]

施設や在宅サービスにおいて、利用者との人間的なふれあいを通し、利用者とその生活の場を理解する。また、基本的な介護の実際を学ぶ。

[実習の内容の概要]

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、身体障害者療護施設にて実施する。

多様な利用者とのコミュニケーションを図る。

[実習修了時の達成課題(到達目標)]

- 1、 介護サービスの機能と役割を理解できる。
- 2、 介護職員を中心に、実習施設職員の職種と役割、職種間の連携を理解できる。
- 3、 利用者とのコミュニケーションを図り、利用者との理解を深める。
- 4、 基礎的な日常生活の援助について習得する。

介護過程実習(1年次春休み:180時間)

[実習の目的・ねらい]

障がいの形態やレベルに応じて求められる適正な技術の使い方について学ぶとともに、各種の介護を助ける住設備機器、福祉用具の知識と活用能力を養う。また、指導者のスーパービジョンを受けながら、個別の介護過程の展開、記録の方法を学ぶ。医療、看護との連携方法について理解できるようにする。

[実習の内容の概要]

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、身体障害者療護施設にて実施する。

担当ケースを1例受持ち、介護過程の展開をアセスメントまで実施する。

[実習修了時の達成課題(到達目標)]

- 1、 実習施設の機能と役割を理解できる。
- 2、 介護職員を中心に、実習施設職員の職種と役割、職種間の連携を理解する。特に、医療・看護との関連で独自の判断で行ってはならない仕事とその部門との連携を学ぶ。
- 3、 重度障がいを有する障がい者または高齢者を対象とし、障がいの形態やレベルに応じて求められる介護の技術的適用の評価と技術の使い方について学ぶ。
- 4、 利用者とのコミュニケーションを図り、利用者についての理解を深める。

介護総合実習(2年次夏休み:180時間)

[実習の目的・ねらい]

個人の対人援助のみならず、施設運営のプログラムに参加し、サービスの提供全般について理解を深めると同時に、チームの一員として介護を遂行できるようにする。また、施設から地域社会へと目を向けた総合的な理解をする。さらに、指導者のスーパービジョンを受けながら、ケーススタディ(事例研究)を行う。

[実習の内容の概要]

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、身体障害者療護施設にて実施する。

担当ケースを1例受持ち、介護過程の展開を評価、フィードバックまで実施する。

[実習終了時の達成課題(到達目標)]

- 1、 実習施設の機能と役割を理解できる。
- 2、 指導者のスーパービジョンを受けながら、介護過程の展開や記録の方法について学び、チームの一員として介護を遂行する能力を身につける。
- 3、 施設の運営や在宅ケアとの連携並びに通所サービスにも参加し、要介護高齢者、障がい者に対するサービス提供全般における介護業務の理解を深める。
- 4、 早出、遅出、夜間実習を通し夜間の利用者の状態や夜間の介護業務を学びチームの一員として介護を遂行できるようにする。

* 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者関係施設のうち2種類以上3施設で実習します。

* 介護基礎実習の中で2日間通所サービスでの実習を行います。

* 実習教育の徹底を図るため、実習期間中に「帰校日指導」を設け、学内での学習活動をします。